



ロータリーは機会の扉を開く

RI 会長：ホルガー・クナーケ

2620 地区ガバナー：赤山 潤

会長：上村 計介 幹事：内山 義之 会場監督：栗原 伸人

例会：毎週金曜日 19:00～20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中央区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2021年5月28日(金) 晴 第1558回例会 週報 NO. 26

司 会：鷹尾政夫 会場監督補佐
点 鐘：上村計介 会長
ロータリーソング

「それでこそロータリー」

ゲスト

☆ 平井 明樹夫様

会長挨拶



本日、内山幹事と山口会員のところに名誉会員のことで伺いました。いろいろ話をして、快くお引き受けくださいました。

本日の卓話は眞瀬直前会長のご紹介で、福祉先進国デンマークについてお話頂きます。楽しみにしています。

幹事報告



・明日地区大会が予定通り開かれます。YouTube 配信等あります。自由参加ですが、ぜひご覧下さい。
・来週は新会員卓話です。最終例会まで休会はありません。

委員会報告

☆齋藤高子 次年度幹事予定者
例会終了後、第3回予定者会議がありますので、速やかにお集まりください。



スマイル

♪上村計介さん、内山義之さん
梅雨入りしてすっきりしない日が続いていますが、皆さんは先日の月食を見られましたか？本日は眞瀬直前会長のご紹介で平井様に卓話をして頂きます。どのようなお話を伺えるか大変楽しみです。

♪内山義之さん

伸さん！いえ、栗原先生！！この度は長らく懸案だった土地を辣腕で解決して頂き、本当にありがとうございました。仕事でお会いする栗原先生は、ロータリーの伸さんとは全然違ってまじめでした。今度高級料理を御馳走します！また宜しくをお願いします。



卓話「福祉先進国 デンマークの事情」

ゲスト紹介：

眞瀬悦邦 クラブ戦略委員長



今日は久しぶりの外部講師です。平井さんは東京生まれ。仕事の関係で浜松にお住まいです。副自治会長を同じ時に務めたことで知り合いました。

*** **
平井明樹夫様



自営でパソコンを教えたりしています。就職で浜松に30年ほど前来了ましたが、40歳になる前に会社をやめ、地域でできることをいろいろしてきました。眞瀬さんともそれで知り合いました。

3年前から今までなかった身体の故障が出て来ました。その前から、障害者の方がパソコンで社会に繋がることが出来るためのパソコンボランティアの活動に参加していて、福祉施設や老人ホームの

現場を見る機会もありましたが、体の故障をきっかけに、将来自分も施設のお世話になる時期が来ることを実感しました。ところが介護の現場には、本当に幸せに日常生活を送っているのか疑問に感じる場面もありました。自分がそうならないように、身体が動くうちに何をすべきか考えるようになりました。国連が毎年発表している世界幸福度ランキングのトップはほとんど北欧の国です（日本は60位）。だから、北欧の文化に漬かってみれば幸福が何か分かるのではないかと考え、約1年の準備期間を経て58歳直前にデンマークに渡航しました。

デンマークは人口約580万人、面積は北海道の半分くらい。ただしフェロー諸島とグリーンランド2つの自治領があります。主な産業は流通、小麦、医薬品、畜産、エネルギーなど。有名なのはレゴ、アンデルセン、キルケゴールなどです。一番高い標高が173メートルというとても平たい国です。

私がいたのはロンデという田舎町で、どこを切り取っても絵ハガキになるような素晴らしいところでした。近くにはデンマーク第2位の都市オーフスがあり、そこは開発も進んでいました。

留学したフォルケホイスコーレは英語ではfolk high school、民衆のための高校と言う意味です。17歳半以降なら何歳からでも入ることが出来ます。かつてヨーロッパが絶対王政から立憲君主に変わる時に、現地の人が現地の言葉で行う民主政治のために作られたと言われています。

私は8月に入学し、10カ月寮に住んでいました。冬場はセントラルヒーティングで常に20度ぐらいで快適でしたが、夏は冷房がありません。窓を開けると虫が入って来るので夏はちょっと大変でした。9月には国連週間があり、SDGsについてグループで調査し、その活動をしているボランティア団体を訪ねたりしました。ホームレスに話を聞く機会もありました。

デンマークにも孤独な老人の問題があります。一人の国民も残さずに面倒をみるという国のシステムの中で、年金暮らしで社会につながらない高齢者にどう幸せに

生きてもらうか。孤独な人たちと楽しむ活動があると聞き、クリスマス直前にバスで30分ほどの所を訪問しました。活動の手伝いをしながら地元の課題を体験することができました。

1月には町の地域的、社会的な課題をグループでリストアップし、改善点を自治体に提案するというプロジェクトコースがありました。

3月、ノルウェイへのスキー旅行を楽しみにしていましたが、その2日前コロナで町がロックダウンし、経済活動が止まってしまいました。学生たちは荷物をまとめて帰るよう言われました。留学生数名は、特別な計らいで、学校で生活しても良いことになりました。2週間の予定で始まったロックダウンはどんどん延長し2ヶ月半、5月の終わりにやっと解除されました。6月の頭に1カ月のコースを受け、そして帰国しました。

ロックダウンの期間はとてもひっそりとしていて、考え事をするのにはラッキーな時間でした。

コロナによって学生生活は一変しました。100人ほどの学生は7～8人のグループになり、グループ内では手つないでもよいけれど、他のグループとは距離をとるように、など厳しく言われました。空港で着用を求められるマスクを手作りしたりもしました。

私が留学した目的、知りたかったことは、日本に帰って来て、10か月たった今、やっと分かってきた感じがします。

色々ありますが、一つ言いたいのには個人主義です。今まで個人主義とは自分のことばかり主張し周りのことを考えない、そんなイメージがありました。最先端の個人主義の国デンマークで見たのは、日本人とあまりかわらない、思いやりにあふれ、献身的に行動する人たちでした。個人主義とは、意味ある人生を送るために自分が今できることは何か考え、自分で決めることだと思いました。そして相手を尊重するものだとも思います。

「自己責任」というのも、以前は自分がしなければならない行動の範囲だと思っていましたが、自分で考えた行動の結果を引き受けることだと気がつきました。

このほかに「平等意識」があります。学校の隣にある図書館で、職員に「図書館は自治体のサービスで作っているのか、住民が始めたものか」と聞きました。その答えはデンマークは伝統的にボランティアが始めたものを行政が援助して大きくするのがほとんどだというものでした。その方は、自治体の職員は市民と同じ目線だということを強調していました。

多様性は自分とは違ういろいろな考え方、環境の方を受け入れられるかという問題です。個人主義のデンマークの人たちは民族も様々ですが、信頼関係を保っています。それなのに信頼を保てるのはなぜか。それは、プライバシーには踏み込まず、その外側で新たに関係を築いているのではないかと気付きました。このように、まだまだ、毎日色々気付いているところです。

出席報告

川井啓介 出席委員長

会員数	45名
出席者数	26名
出席算定会員数	36名
出席率	72.22%

前々回出席者数	28名
前々回出席率	77.78%

*** 地区大会 ***

開催日：5月29日（土）
会場：グランディエールブートカイ
YouTube/Zoom



志田ガバナー挨拶



地区全クラブ紹介